

学校と連携した団体鑑賞の基本活動例

□ねらい：作品を鑑賞して感じたこと、気付いたこと、考えたことなどを語り合い、対話を通して楽しみながら作品の良さを味わうことができる。

※詳細については、学校と検討する。


□対象：幼稚園～大学生（活動単位：参加団体を1～5グループに編制する）

□活動時期：開館日（相談の上決定）

□所要時間：60分程度（相談の上決定）

□講師：岐阜県美術館教育普及係

□費用：無料

学 習 活 動 展 開 例	備 考
<p>1 導入（約7分）…講堂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催中の展覧会についての説明を聞き、鑑賞活動への意欲を高める。 ・美術館の役割や展示室内での約束及びマナーを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体鑑賞の進行を美術館の教育普及係が勤める。 ・鑑賞者の体調等を確認する。
<p>2 鑑賞（約45分）…ホール及び展示室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、美術館職員と共に鑑賞する。 ・参加者相互に対話をしながら、作品の魅力を味わう。 ・作品をじっくりと見つめ、色や形、描かれているものや描き方などから、感じたこと、考え方ことなどを語り合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館職員は、鑑賞グループを引率し、対話を通して鑑賞を促したり作品解説を参加者の学年段階に応じて行ったりする。 ・引率の教職員は、美術館職員と共に児童生徒の鑑賞態度を見守り、事故が起きないように個に応じた配慮をする。
<p>3 振り返り（約8分）…講堂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印象に残った作品について他のグループと交流する。 ・公共の文化施設を利用することへの関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞を通して感じたことや学んだことを交流できるよう運営する。

【活動を計画するにあたって】

※対応できる講師（美術館教育普及係）は1～5名

※メモをとる必要がある場合は、鉛筆のみ使用可能

※展示室内での写真撮影には許可が必要

※個々の児童生徒及び学生に対し、美術館職員が評価することはない